資料　２－２

輸血療法に関する調査

Hiroshima 2014

<「輸血用血液製剤供給量」別集計（*N=100*）*ver.1* >

2015 年 ***1*** 月 ***28*** 日時点

< 輸血療法に関する調査 Hiroshima 2014 調査概要 >

○ 調査目的

広島県の医療機関における輸血療法の現状と実態を把握するため、平成 23 年度に設置された広島県合同輸血療法委員会が実施主体となり、厚生労働省 血液製剤使用適正化方策調査研究事業の一環として、「輸血療法に関する実態調査」を行った。

○ 調査対象

・広島県血液センターにおける、平成 24 年度輸血用血液製剤供給実績上位 100 位以内の医療機関 --- 99 施設

・以前の調査(平成 23 年度、もしくは平成 24 年度)の調査対象であった医療機関 --- 5 施設

・平成 23 年度、もしくは平成 24 年度の研修会に参加申込があり、昨年度調査前の時点で、過去 3 年以内に輸血用血液製剤の供給を受けている医療機関 --- 34 施設

⇒ 計 138 施設

○ 調査期間

2014 年 10 月 27 日 (調査票発送) ~ 2014 年 11 月 28 日 (締切日)

○ 調査方法

郵送により配布・回収

記名自記式調査 (集計結果は匿名化)

○ 調査・解析について

広島大学疫学研究倫理審査 承認

○ 回答状況

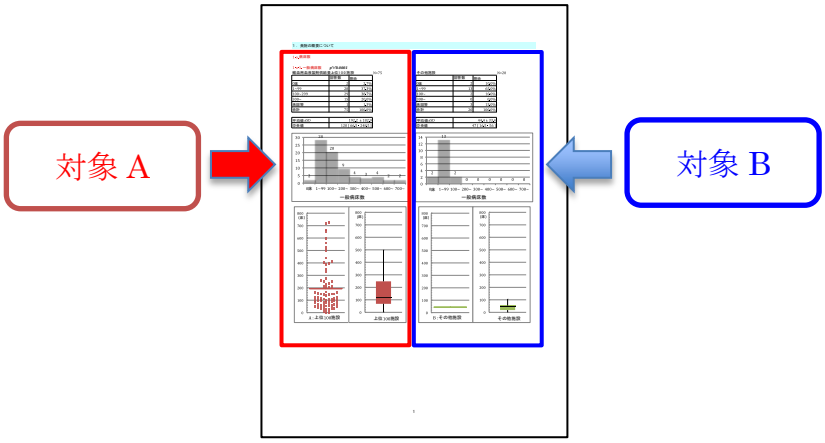
調査対象施設		発送数	回収数	回収率 (%)
全体		138	100	72.5
A	H24 輸血用血液製剤供給量上位 100 施設	99	74	74.7
B-1	H24 以前の調査の調査対象	5	3	60.0
B-2	以前研修会に参加申込しており、昨年度調査前の時点で、過去 3 年以内に輸血用血液製剤供給実績あり	34	23	67.6
	B 小計	39	26	66.7

○ 集計方法

100 施設の回答について、以下の 2 群で集計を行った。

対象 A：平成 24 年度輸血用血液製剤供給量上位 100 施設 (N=74)

対象 B：その他施設 (N=26)

● 集計表の見方

次項からの集計表には、ページ左半分に対象 A の集計結果が、ページ右半分に対象 B の集計結果が掲載されている。一部グラフに関しては、比較しやすいように対象 A と対象 B をまとめて掲載したものもある。